

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【公表番号】特表2017-500719(P2017-500719A)

【公表日】平成29年1月5日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2016-547247(P2016-547247)

【国際特許分類】

H 0 1 J	9/395	(2006.01)
C 2 2 C	30/02	(2006.01)
B 2 2 F	1/00	(2006.01)
C 2 2 C	1/04	(2006.01)
B 2 2 F	7/04	(2006.01)
C 2 2 C	16/00	(2006.01)
B 2 2 F	3/02	(2006.01)
H 0 1 J	9/39	(2006.01)
H 0 1 J	61/24	(2006.01)
H 0 1 J	61/28	(2006.01)
H 0 1 J	29/94	(2006.01)
H 0 1 J	7/18	(2006.01)
H 0 1 J	61/20	(2006.01)

【 F I 】

H 0 1 J	9/395	D
C 2 2 C	30/02	
B 2 2 F	1/00	L
B 2 2 F	1/00	J
B 2 2 F	1/00	R
C 2 2 C	1/04	A
C 2 2 C	1/04	E
B 2 2 F	7/04	G
C 2 2 C	16/00	
B 2 2 F	3/02	P
H 0 1 J	9/39	C
H 0 1 J	61/24	S
H 0 1 J	61/28	A
H 0 1 J	61/28	X
H 0 1 J	29/94	
H 0 1 J	7/18	
H 0 1 J	61/20	

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日 (2017.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- 水銀と、チタン、ジルコニウム、及びそれらの混合物から選択された第2金属とを含む水銀分配粉末化合物A、並びに

- 銅及びスズを含む、合金または金属間粉末化合物Bであって、銅は前記化合物Bの重量に対して35～90%重量百分率の量で存在する、合金または金属間粉末化合物B

からなる材料の水銀分配結合体であって、

前記材料の水銀分配結合体は、更に、組成物の全重量に対して0.03%～0.48%、好ましくは0.06%～0.39% w t / w t の酸素量を含むことを特徴とする、材料の水銀分配結合体。

【請求項2】

前記合金または金属間化合物Bが、少なくとも、遷移金属の鉄、ニッケル、マンガン、及び亜鉛から選択された第三金属を更に含み、前記遷移金属が化合物Bの全重量の1%以下の量で存在する、請求項1に記載の材料の水銀分配結合体。

【請求項3】

前記水銀分配化合物Aが、式 $Ti_xZr_yHg_z$ に対応する一以上の金属間材料を含む化合物から、好ましくは式 Zr_3Hg 及び Ti_3Hg から選択される、請求項1又は2に記載の材料の水銀分配結合体。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の水銀分配組成物を含む水銀分配装置。

【請求項5】

成分Bが金属支持の被覆の形態で存在し、成分Aが圧延によって成分Bに付着した粉末として存在する、請求項4に記載の水銀分配装置。

【請求項6】

少なくともゲッター材料Cが加えられた、請求項4又は5に記載の水銀分配装置。

【請求項7】

前記水銀分配組成物は、ストリップの形状を有し、好ましくはニッケルメッキされた鋼からなる支持材料に付着する、請求項4から6のいずれか一項に記載の水銀分配装置。

【請求項8】

材料A、B、及びCと一緒に混合され、前記ストリップの一面または両面上に圧延されている、請求項7に記載の水銀分配装置。

【請求項9】

材料A及びBは前記ストリップの一表面上に配され、材料Cは材料A及びBに対して反対表面上に配される、請求項7に記載の水銀分配装置。